

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590300115		
法人名	有限会社 三井福祉会		
事業所名	グループホーム居場所あおの		
所在地	新潟県上越市青野2080-1		
自己評価作成日	令和4年9月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jigyosyoCd=1590300115-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jigyosyoCd=1590300115-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和4年11月25日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成19年1月開所から16年が経ちました。施設周辺は田畑や竹林があり、ため池百選にも選ばれた青野池が水を満々と蓄えています。緑も多く、のどかでゆったりとした環境に包まれています。当施設の理念でもある”地域との交流”に努め、夏祭りや町内行事に参加をしたり、地域の方々と「認知症サポーター養成講座」を開催し、共に学んでいます。現在、コロナ禍ということもあり、地域の方々ととの交流がなかなか出来ない状況ではありますが、準備期間と捉え、新たな取り組みを地域の方々と考えております。

ご利用者の支援は、「自立した生活」を念頭に、ADL・QOLの向上を目指しています。また、季節に合わせ、お花見、紫陽花見学、紅葉見学に出かけ、季節の移り変わりを感じながら生活を送っています。誕生日には出来る限り外出し、豪華な食事を楽しんでいます。個別に外出も支援しており、行きたいところへお連れする支援も行っています。

日常生活や施設での様子は、担当者が2か月に1回、管理者は毎月、ご家族に手紙で報告を行っています。また、年に4回、広報誌を発行しご家族、地域への回覧、運営推進会議での配布をおこない生活の様子をお知らせしています。

平成29年度から委員会を立ち上げ、ご利用者の生活に潤いと安心安全、そして信頼関係を構築できるよう職員一丸となって働きかけをおこなっています。また、介護福祉士の取得率も増加し、立ち上げ当初は半数以下でしたが、令和2年度は職員の7割が介護福祉士取得、令和4年度では職員の9割が介護福祉士取得と、質の向上にも繋がっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域社会に根差づいた事業運営  
「グループホーム居場所あおの」は開設して15年目を迎えた事業所である。市街地から少し離れた自然豊かな地域に立地し、近くには観光名所の青野池があり、四季折々の景色を楽しみながら地域の中でゆったりと暮らすことができる環境である。これまで地域とのつながりに積極的に地道に働きかけてきた経緯もあり、現在、管理者は自治会組の班長という役を担い地域になくしてはならない立場となっている。コロナ禍の影響で地域行事の中止や活動の制限を余儀なくされている中、地域の方とは回覧板のやり取りや散歩時に挨拶を交わしたり、畑の野菜作りを通して交流が図られるなど、顔見知りの間柄となっている。利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための事業所として、今後も役割を担っていくことが期待されている。

○チームで支える連携体制と生きる力となる「食」への取り組み  
管理者は、職員間で意見を出し合える雰囲気づくりと皆で決める姿勢を大切に、気持ちよく働ける職場となるよう尽力している。また、職員のストレスや負担が大きくなっていないか、日常的に気をくばり職員の話をよく聞くようにしている。その思いは職員に伝わり、全職員で意見やアイデアを出し合いながら利用者の支援者として、その人が望む生活を尊重し利用者の生活を支えている。特に「残存機能を活かした利用者主体の生活」を常に意識して、利用者の持てる力や魅力を最大限活かした暮らしに向け支援している。また、食事は利用者の楽しみの一つであり、ミールキットを活用しながら、畑で採れた野菜や「いただきもの」など地域の食材を積極的に取り入れ、毎月の行事食や季節毎の食楽行事食を取り入れ提供している。利用者も、畑仕事一連の流れに参加し、調理は一人ひとりの持つ力を発揮してもらうことで、食べたい気持ちや生きる活力に繋がる支援となっている。常に気持ちの良い挨拶を徹底し、事業所全体の雰囲気も良く、この職員の姿勢や取り組みが利用者のその人らしい充実した暮らしに反映されている様子が窺える。